



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ード 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日本エスリード株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 荒牧 杉夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 井上 祐造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ード 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ード 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 日 本 エ ス リ ー ド 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 荒 牧 杉 夫
コ ー ド 番 号 8 8 7 7 東 証 第 一 部
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長 井 上 祐 造
(T E L . 0 6 - 6 3 4 5 - 1 8 8 0)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年5月12日公表)	前期実績 (平成29年3月期)
基 準 日	平成30年3月31日	平成30年3月31日	平成29年3月31日
1株当たり配当金	17円50銭	12円50銭	12円50銭
配当金総額	270百万円	—	192百万円
効力発生日	平成30年6月27日	—	平成29年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

上記方針及び当期の業績が好調に推移しましたことを勘案し、平成29年5月に公表いたしました期末配当予想より5円増配し、1株当たり普通配当17.5円にしたいと存じます。これにより平成29年12月1日に実施済の中間配当金1株当たり12.5円を含めた当事業年度の年間配当金は、1株当たり30円となります。

以 上